

学校だより



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High school

令和7年度 第4号

令和8年3月24日（火）発行



令和7年度を振り返って～これまで、今、これから 校長 岩佐延寿

本日で令和7年度の一年間が終了いたします。

保護者等の皆様におかれましては、この一年間、本校の教育活動への御理解と御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、3月7日（土）には、第11回卒業証書授与式を挙行し、3学年22名の生徒が卒業いたしました。あらためまして、3学年の生徒の皆さん、保護者等の皆様、御卒業おめでとうございます。

また、当日は多くの御来賓の皆様に御臨席いただきありがとうございました。



卒業証書授与式は、卒業する3学年にとっても、在校となる1，2学年にとっても「これまでの自分」と「今の自分」、そして「これからの自分」について考えることができ、とても素晴らしい式（機会）となりました。

1，2学年からの「送辞」、そして3学年の「答辞」と「旅立ちの言葉」には、「これまで、今、これから」についての思いや決意などを、それぞれの生徒が、言葉として表現してくれていました。その言葉は、会場にいた一人一人の心に伝わり、受けとめた一人一人が共感し、感動につながったように感じました。御参加、御臨席いただきました皆様、誠にありがとうございました。

この一年、生徒は「自分をより良くするため」や「自分の将来の生活に向けたこと」など、目標を立てて、「自分は、何ができるようになるのか」「自分は、何を学ぶのか／どのように学ぶのか」そして、活動や体験の後に「自分は、何が身に付いたのか」を考え、自分と向き合いながら学校生活を送ってまいりました。

保護者等の皆様におかれましては、今年度の4月からの「これまでの自分」、そして一年間がんばった「今の自分」について、新しい学年や新しい生活に向かう「これからの自分」ということについて、お子様とともに考える春休みにしていただけるとありがたいです。

終わりになりますが、保護者等の皆様、地域関係者の皆様、本校の教育活動への御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、生徒たちは安心して学校生活を送り、充実した毎日を過ごすことができました。感謝いたします。ありがとうございました。

私たち教職員は、これからも、生徒たちのさらなる成長を支えてまいります。引き続き、御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High school



2 学年の現場実習を終えて

進路担当 秋 田 聡

今年度の現場実習は、6月と10月にそれぞれ2週間行いました。2学年では、3学年の前提実習を念頭にそれぞれ単独で実習します。グループではなく単独。仕事はもちろんですが、通勤も自分の力ですることが必須でした。

一般就労なのか福祉的就労なのか。B型なのかA型なのか移行なのか、はたまた進学するのか。生徒自身の自己理解が求められました。職業の学習、作業学習、四者懇談、自分の希望、現在の実力、将来的な観測、目指す社会人像。実習先を決定しそれぞれの実習に挑み、誰もがやり遂げた顔で学校に戻ってきました。

先日、四者懇談を終えました。二度の実習を経て自分の意見をしっかり伝えることができていたと思います。最終的に道を決めるのは自分自身です。現場実習で得た経験、会社・事業所からの評価、先生方からのアドバイスなど、いくつもの情報を総合的に判断して、より良い就労に結び付けられるように残り一年で結果を出していきます。



離任される教職員の方々、本校で御尽力いただき、誠にありがとうございました
4月から、新天地でますます御活躍されることを心から祈っております。



4 年間の勤務を振り返って

教頭 池 田 英 司

4年前に千歳高等支援学校に赴任して今日まであっという間でした。

赴任してすぐに、開校記念式典の大きな行事があり、先生方に助けていただき無事終わることができました。それ以外にも、高校総体の記念品づくり、宿泊・見学旅行にも参加させてもらいたくさんの楽しい思い出を作ることができました。

私自身、教頭として、先生方の先頭に立ってみんなを上手く導くことができたか。また、地域の皆さんと連携した教育活動を推進することができたか。もっとできたことがあったのではないかと思います。令和8年度は、千歳空港100周年を迎え、本校もいろいろな面で関わることが増えると思います。千歳高等支援学校のチームワークで頑張ってください。応援しています。令和8年度は、東川養護学校で副校長として、頑張りたいと思います。今まで本当にありがとうございました。



通りすがりの事務長

事務長 林 正 司

公立学校職員の60歳定年退職が65歳に変更となり、私が3年前に赴任した時は、定年退職ではないのですが60歳の区切りになる今年度で転勤することは、だいたい決まっていました。

60年生きてきて思うことは、通りすがりから学ぶことは多い、ということです。

私の知識は、通りすがりのテレビやマンガやゲームから得たものがほとんどで、コミュニケーションが必要な時には、その知識が大いに活躍しています。

いろいろな一期一会を大切にすると、新たな発見があるかもしれません。

生徒のみなさんと保護者等のみなさんの御健康と御活躍を祈って、お別れの御挨拶とします。





転出にあたって

教諭 水 野 直 子

退職する歳になったら、スッパリ辞めようと思っていました。昨年3月末、年齢的には定年を迎えた時「卒業までこのクラスの担任がしたい。」という気持ちが抑えられず、一年定年延長をしました。そして、この度卒業式を終え、満たされた心でやっと退職いたします。4月からは千歳市民として千歳高等支援学校や卒業生を陰ながら(?)推していきます。よろけたら支えてくれて、小さい文字が見えない時は読んでくれて、iPadを私の代わりに操作してくれた優しい生徒たち、いつもたくさん協力してくださった保護者の皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。



大変お世話になりました

教諭 服 部 和 枝

昨年4月に着任して、体育館で整然と並ぶ皆さんの前で挨拶した日のことを思い出します。高等支援学校の勤務が初めての私にとって、作業学習では多くの経験を積むことができました。いくつになっても、知ること、学ぶ事は嬉しく、戸惑いながらも充実した毎日を送ることができました。生徒の皆さんと会話をする毎日楽しく、たくさんの刺激をもらいました。また、教職員の皆様には様々なことで御助言、相談にのっていただきありがとうございました。これからの職務に活かし努力していきたいと思います。



転出にあたって

教諭 藤 井 太 雅

この度、北海道七飯養護学校へ異動となりました。千歳高等支援学校では5年間勤務させていただきました。この5年間を振り返ると、生徒の皆さんにはいつも楽しく関わっていただき、教職員の皆さんにはいつも優しく助けていただくことが多くありました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからは千歳高等支援学校で学んだ多くのことを活かして新天地で頑張っていきたいと思います。少し遠くはなりますがこれからも千歳高等支援学校の生徒の皆さんのことを応援しています。保護者等の皆様、生徒の皆様、教職員の皆様、本当に5年間ありがとうございました。



転出の御挨拶

教諭 菅 英 登

千歳での5年間を振り返ると、生徒の皆さんとたくさん関わったことを思い出します。登下校や授業中、休み時間での教室など、たくさんの笑顔もらっていました。生徒の皆さんには、卒業後の生活に向けて努力することも大切ですが、高校生活3年間で全力で楽しかった！と思えるものにして欲しいです。一度しかない高校生活に悔いが残らないよう、お腹が痛くなるくらい笑ったり、時には寝れなくなるまで悩んだり、悔しくて目が腫れるまで泣いたり。勉強も仲間との時間も全力で楽しんでください!!

これからも皆さんの活躍を楽しみにしています。生徒の皆さんや保護者等の皆さんには、本当にお世話になりました。成長した姿でまた会える日を楽しみにしております。





ありがとう！

実習助手 山 田 直 之

4年間、ありがとうございました。いろいろな人に助けて頂き、頑張ることができました。次の場所に行っても、自分なりにやっていこうと思います。本当にありがとうございました。



転出にむけて

実習助手 片 岡 美智代

千歳高等支援学校で過ごした二年間の日々は、とても勉強になりました。生徒の皆さんとともに過ごした作業学習の授業は私にとって良い経験になり、大きな財産となりました。至らない点も多かったと思いますが、温かく見守り助けていただいたことに心から感謝しています。新しい職場でもここで学んだことを大切にしながら精一杯がんばっていきます。これからは千歳高等支援学校を遠くから応援していきます。ありがとうございました。

今後の予定

- 4月8日（水） 第1学期始業式・着任式（5時間授業）
- 4月9日（木） 令和8年度入学式（5時間授業）
- 4月13日（月） 全校集会 身体測定
- 4月16日（木） 新入生歓迎会 耳鼻科検診
- 4月17日（金） 2・3学年保護者懇談・授業参観週間～28日 同好会
- 4月23日（木） 1学年保護者懇談・授業参観週間～5月8日
X線・心電図検査（1学年）

